

いみず

特集

高まる寄付への関心
「ありがとう」をつなぐ
新しい寄付のかたち



広報活動に関する アンケート調査を 行います

より効果的な活動を行っていくために
みなさまの声をお聞かせください。

抽選で、5名の方に
図書カードをプレゼント!

回答方法：下図のアンケートフォーム
からご回答ください。

締 切：6月20日(月)

※社協のホームページからもアンケート
フォームに移動することができます。
※インターネット環境がないなど、イン
ターネット回答ができない場合は、右記
までご連絡ください。



特定非営利活動法人ふらっと(上)とひばりふれあい食堂「ペンギン」(下)のみなさん(※詳しくはP2へ)

お問い合わせはこちらまで

【ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。】

 社会福祉法人 射水市社会福祉協議会

〒939-0351 射水市戸破4200番地11

救急薬品市民交流プラザ2階

◆総務課 ☎55-5201

〈E-mail〉

honsho@imizushakyo.jp

〈ホームページ〉

<http://www.imizushakyo.jp/>

贈る寄付への関心



「ありがとう」をつなぐ

新しい寄付のかたち

近年日本で寄付が増えているのを知っていますか？日本ファンドレイジング協会の調査によると、2020年の個人寄付総額は1兆2,126億円となり、20歳～79歳の男女の44.1%が寄付をしているそうです。
なぜいま寄付が増えているのでしょうか。

関心の高まる社会情勢

東日本大震災が起こった2011年は寄付元年といわれています。日本だけでなく世界中からたくさん
の支援がありました。豪雨や地震など、近年毎年
のよりに起る自然災害で、義援金活動も今まで以上
により身近になり、寄付を経験する人が増えました。
そして、新型コロナウイルス感染症の拡大によって
生活や価値観が大きく変わり、「ともにつなごう」と
という助け合いの輪が広がってきました。

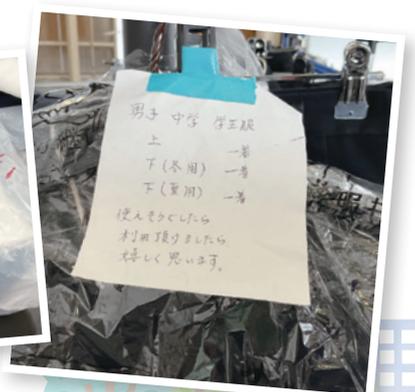
また、ふるさと納税やSDGs(持続可能な開発目
標)の取り組みが多くの人に認知されるようになった
ことも、寄付が増えてきた理由としてあげられます。

より手軽な寄付のかたちへ

コロナ禍で広がった、非接触型やオンラインの推
奨により、街角で見かける募金箱という寄付のイ
メージが大きく変わってきました。

実際に、クレジットカードや電
子マネー、ポイントでの寄付は増
えており、クレジットカードによ
る寄付はこの10年で5倍に伸びて
います。

金銭による寄付のほかにも、生
活用品などの物品による寄付や、
寄付付き商品、ご遺族が故人の遺



志を引き継いで遺産を寄付する
遺贈寄付など、さまざまなか
たで寄付が行われるようになって
います。ボランティアやプロボ
ン(職業上の技術や専門知識を活
かしたボランティア)も広い意味
での寄付といえます。

それぞれのライフスタイルに
あったやり方で、より寄付に参加しやすい環境が整
いつつあることも、寄付の規模が大きくなっている理由
のひとつです。



ひろがる寄付のかたち

市内でも環境や福祉につながる寄付の取り組みが広がっています。



NPO法人フードバンクとやま

理事長の川口明美さんは2009年に任意団体として活動を始めました。

フードバンクとやまでは、個人や企業から食品を提供してもらい、福祉団体へ届ける活動をしています。

「フードドライブは集めることがゴールではなく、なぜするのかということを考えることが大切。」という思いから、県内の学校や企業を対象に食品ロスやフードドライブに関する研修や講演も積極的に行っています。

「理想は、食品ロスや困っている人が少なくなる社会になること。食べ物や人が大切に扱われるような社会になってほしい。」と笑顔で話されました。



問合せ先

NPO法人フードバンクとやま
TEL 090-13663-5619



フードドライブ アルビス(株)×射水市

地域の企業と行政の新たな取り組みとして、家庭で利用予定がなくなった食品を集めて、必要としている福祉団体などに届けるフードドライブがアルビス大島店で開催されました。



アルビスブランド推進部長の森田佳子さんは「実はスーパーの中の食品ロスは少なく、家庭から出る食品ロスが全体の半分近くを占める。この活動が環境と福祉の問題を知る機会となり、一人でも多くの方が参加しやすい場を提供したい。」と話されます。集めるだけでなく、地域の協力によって支援が必要な方に届けられて、はじめてフードドライブが成り立ちます。「企業の役割としてそれぞれをつなぐ」、そういった地域連携を続けていきたい。」と語られました。

開催日 射水市の広報紙やHP、SNSのほかアルビスのチラシに掲載されます。

小中学校制服回収プロジェクト

富山県立大学の立田研究室では、射水市内の小中学校の使わなくなった制服などを回収して、無償で次の利用者へ渡すシステムづくりを行っています。

立田准教授は「学校用品の購入は大きな出費となるが、子どもが卒業すると処分にかかる家庭も多い。」と環境と経済の両方を考慮し、活動を始めました。

富山県は全国でも制服にかかる費用負担が大きく、「コロナ禍などで苦しむ家庭の経済的支援につながる」として、注目を集めています。

昨年はランドセルや体操着、柔道着なども含めて420点が集まり、引渡しい会では進学をひかえた親子など約100名が訪れました。



今後もし引き続き活動を実施し、県内の学校にも取り組みの輪を広げていく予定です。

問合せ先

富山県立大学 資源循環工学 立田研究室
E-mail tateda@pu-toyama.ac.jp

回収ボックスは、①射水市本庁舎1階エントランス、②県立大学 正面玄関守衛室に設置(※学校名を記入して投函してください)

寄付は未来への投資

寄付はお金やモノだけでなく、自分の「思い」も一緒に託すことができます。そして、寄付は集めることや受け取り先へ渡すことがゴールではなく、実際に必要とする相手のもとに届き、活用されてはじめて寄付としての意義が生まれます。なんのために集めるのか、なぜ寄付が必要とされているのか、困っている人たちが少しでも減るように、一人ひとりがその人らしく生活していくにはどのようなことができるのか考えることで、互いを思いやる「ありがとう」という「感謝」の気持ちが生まれます。そのつながりを大切に「ありがとう」の輪を広げていきたいと思います。

地域のふくしの今なう(Now)を届ける

地区社会福祉協議会なう



市内27地区の『地区社会福祉協議会』では、地域のみなさんが安心して暮らせるまちづくりを目指して、見守りや話し相手などでお互いに支え合う「ケアネット活動」や、救命救急の迅速な対応に活用する「いのちのバトン」の普及などに日々取り組んでいます。

各地区社会福祉協議会が取り組む地域福祉活動の“いま”をお届けします。

射水市の地域福祉活動の状況 (令和3年12月31日現在)

地区名	人口	世帯数	高齢化率	ケアネット チーム員数	ケアネット 登録者数	いのちの バトン 登録者数	避難行動 要支援者 登録者数	地域 ふれあい サロン数
放生津	4,048	1,912	43.9%	15	11	108	149	9
新湊	6,168	2,725	42.3%	13	7	160	158	10
庄西	836	362	46.1%	23	8	72	8	2
作道	5,688	2,150	27.7%	6	3	93	55	11
片口	3,779	1,512	18.2%	5	2	25	50	3
堀岡	2,551	1,025	33.2%	6	2	152	74	7
海老江	2,709	1,101	33.0%	2	1	23	55	1
七美	1,361	542	38.2%	44	52	104	23	1
本江	1,857	695	26.5%	18	5	67	68	1
塚原	3,099	1,147	34.0%	7	2	14	27	4
三ヶ	4,909	2,137	29.1%	9	4	105	51	10
戸破	9,580	3,844	22.2%	9	4	171	89	7
橋下条	2,280	744	18.7%	1	1	49	12	1
金山	1,389	511	37.4%	14	6	60	4	9
大江	2,111	789	34.8%	6	3	38	55	5
黒河	3,156	1,177	23.4%	18	9	26	48	1
池多	910	360	28.6%	26	12	64	34	1
太閤山	3,310	1,475	28.8%	24	10	141	34	2
中太閤山	3,189	1,319	34.7%	18	7	256	43	6
南太閤山	3,170	1,278	39.3%	6	3	76	38	7
浅井	2,924	1,005	26.6%	7	3	35	31	4
櫛田	1,726	600	40.3%	14	6	69	36	5
水戸田	1,382	489	39.8%	8	4	38	29	6
二口	4,394	1,524	22.2%	7	4	97	33	5
大門	2,363	985	37.0%	7	7	98	8	0
大島	11,115	4,125	27.4%	29	20	100	133	13
下	1,772	656	34.6%	6	5	12	37	3
射水市全体	91,776	36,189	30.4%	348	201	2,253	1,382	134

※「いのちのバトン登録者数」には、自治会・町内会などで独自に実施されている類似制度の登録者数は含まれていません。

地域の“いま”を知ることは、“これから”を考えるためにとても大切です。
誰もが安心して暮らせるまちづくりを一緒に進めていきましょう♪
各制度について、ご利用を希望される方は、お気軽にお問合せください。

問合せ先 地域福祉課 ☎55-5202

あなたの子育てを応援します!

あなたも会員登録
しませんか?

ファミリーサポートセンターでは、子育てのお手伝いをしてほしい方と子育てを応援したい方が会員登録し、地域で子育ての助け合い活動を行います。



① 援助の申込み



依頼会員

② 援助の依頼



協力会員

③ 事前打合せ 活動開始



④ 活動終了後の 報酬授受

依頼会員 子育てを応援してほしい人

- 市内在住か市内に勤務の方
〈援助の対象と内容〉
- ★ 0才～6年生までの保護者
- ★ 保育施設や学校、習い事への送迎
- ★ 依頼会員宅や協力会員宅、支援センター等での預かり
- ★ ママの通院や兄弟姉妹の学校行事、リフレッシュ等

協力会員 子育てを応援したい人

- 市内在住で子どもが好きな方
- 健康な方で子育て中の世帯を援助したい方
- ※ 空いている時間を活用してみませんか。
- ※ 夕方に送迎活動できる男性会員さん大歓迎。



問合せ先 射水市ファミリーサポートセンター 射水市戸破4200番地11(救急薬品市民交流プラザ2階)
☎55-5205 FAX 55-5209 E-mail: ifss@imizushakyo.jp

転ばぬ先の^{プラス}アドバイス なめらか食の作り方

「なめらか食」と聞いてイメージする食事形態は何でしょうか。呼び方はいろいろありますがミキサー食やペースト食、ゼリー食、ムース食などと言われる食事を思い浮かべられた方が多いと思います。以前は、ドロドロの物、ただ固めた物でしたが、近年「なめらか食」は進化し、温かく見た目にも美しく安全で美味しい食事に変化しました。

作り方

- ① 食材をやわらかくなるまで加熱する。
- ② やわらかくなった食材と適量の水分を粒がなくなるまでミキサーでかきまぜ、ポタージュー状にする。
- ③ ミキサー食の場合はトロミ剤、ゼリー食はゲル化剤をミキサーに入れ更にかきまぜる。
- ④ ミキサー食はスプーンですくって落ちない程度、ゼリー食はプリン、ゼリー、具なし茶碗蒸し、卵豆腐程度の固さにする。



水分を多く含むので栄養価が下がりますが、だし汁の代わりに豆乳、牛乳、栄養補助食品、オリーブオイル、マヨネーズなどを使用し、たんぱく質や脂肪をアップするとよいでしょう。

ミキサー食、ペースト食

スプーンですくって食べられます。噛む動作がほとんどなく、飲み込むことが難しい方に合う食事形態です。かたさにより誤嚥をすることがあります。

ゼリー食、ムース食

少量をすくって丸呑みできるため、噛む力がほとんどなく、飲み込む力がなく誤嚥のリスクが高い人に適している食事形態です。

市販品の活用方法

- 冷凍のペースト状になった野菜、レトルト食品を使用する。
- ユニバーサルデザインフード区分4「かまなくてよい」(右図参照)を選ぶ。
- スマイルケア食 農林水産省が新しい枠組みとして整備した形態区分表の2と1(右図参照)を選ぶ。

商品の右上に書いてあります

▼ユニバーサルデザイン
フード区分4



▼スマイルケア食
形態区分2と1



作り方や購入方法について、病院、福祉用具を扱う事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターへ相談してみるのもよいでしょう。

ひきこもりのことで、何かお困りごとはありませんか？
あなたのそばに、相談できる窓口があります。



ご自身やご家族のひきこもりについて、悩みや苦しみを抱え込んでいませんか。
ひきこもりは誰にでも起こりうることで、特別なことではありません。
ひきこもりは、「相談してよい悩み」です。どのようなことでも当事者だけで悩まずに、あなたのタイミングでご相談ください。

Q. どんな場合に相談すればよいですか？

まずは、些細なことでも何でも相談してください。
ご本人やご家族に寄り添いながら、お話をお聞きします。
「今は働いていなくて家にいる」、「近所のコンビニなどには出かけるが、普段は一人で家にいる」、「長年外に出ていない」など、お一人お一人の状況に応じて相談支援員が寄り添い一緒に考えます。
また、必要に応じて支援機関との連携や自宅訪問なども行います。



Q. 家族が相談してもいいですか？

ご家族は、ひきこもりで苦しんでいるご本人にとって一番身近な支援者です。ご家族の方もご相談ください。

当事者と家族の居場所として実施している「すてっぷカフェ」は、令和4年度から同じ立場の人同士がより交流し合えるように当事者向け、家族向けそれぞれ開催します。予約不要で参加できますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

● 心配ごと相談

日常生活から生じる心配ごと、悩みごとに関する相談に応じて、民生委員・児童委員が適切な助言を行います。

5/17☎ **会場** 救急薬品市民交流プラザ
6/ 7☎、21☎ (1階ミーティングルーム)
7/ 5☎、19☎ **時間** 13:30～16:00
8/ 2☎ **問合せ** すてっぷ(☎55-5203)

5/19☎ **会場** 新湊交流会館(1階会議室)
6/ 2☎、16☎ **時間** 13:30～16:00
7/ 7☎、21☎ **問合せ** 新湊支所(☎82-8450)
8/ 4☎、18☎

● ひきこもり相談会

ひきこもりに関する悩みや不安などの相談に、専門資格を持った相談員が対応します。

※相談者多数の場合は、お待ちいただくことがあります。
5/10☎ **会場** 救急薬品市民交流プラザ(別館)
7/12☎ **時間** 13:30～16:30
8/ 9☎ **問合せ** すてっぷ(☎55-5204)
6/14☎ **会場** 新湊交流会館(1階会議室)

● すてっぷカフェ

ひきこもりなど生きづらさを抱える方が集まって自由に過ごす場所です。◎途中参加、退中は自由です。
※5/6と6/3は会議室2Bで行います。

5/ 6☎ **会場** 救急薬品市民交流プラザ(別館)
6/ 3☎ **時間** 13:30～15:30
7/ 1☎ **問合せ** すてっぷ(☎55-5204)
8/ 5☎

● すてっぷカフェ家族会 **NEW**

ひきこもりなど生きづらさを抱える方のご家族(両親・兄弟・親戚など)が集まって自由に過ごす場所です。
◎途中参加、退中は自由です。

5/28☎ **会場** 救急薬品市民交流プラザ(別館)
6/25☎ **時間** 13:30～15:30
7/23☎ **問合せ** すてっぷ(☎55-5204)
8/27☎

ひとりで悩まず 一度ご相談ください
相談・参加 無料
秘密 厳守

相談・問合せ先

射水市ふくし総合相談センターすてっぷ
☎55-5203
☎55-5204(ひきこもり相談専用ダイヤル)
E-mail : step@imizushakyo.jp

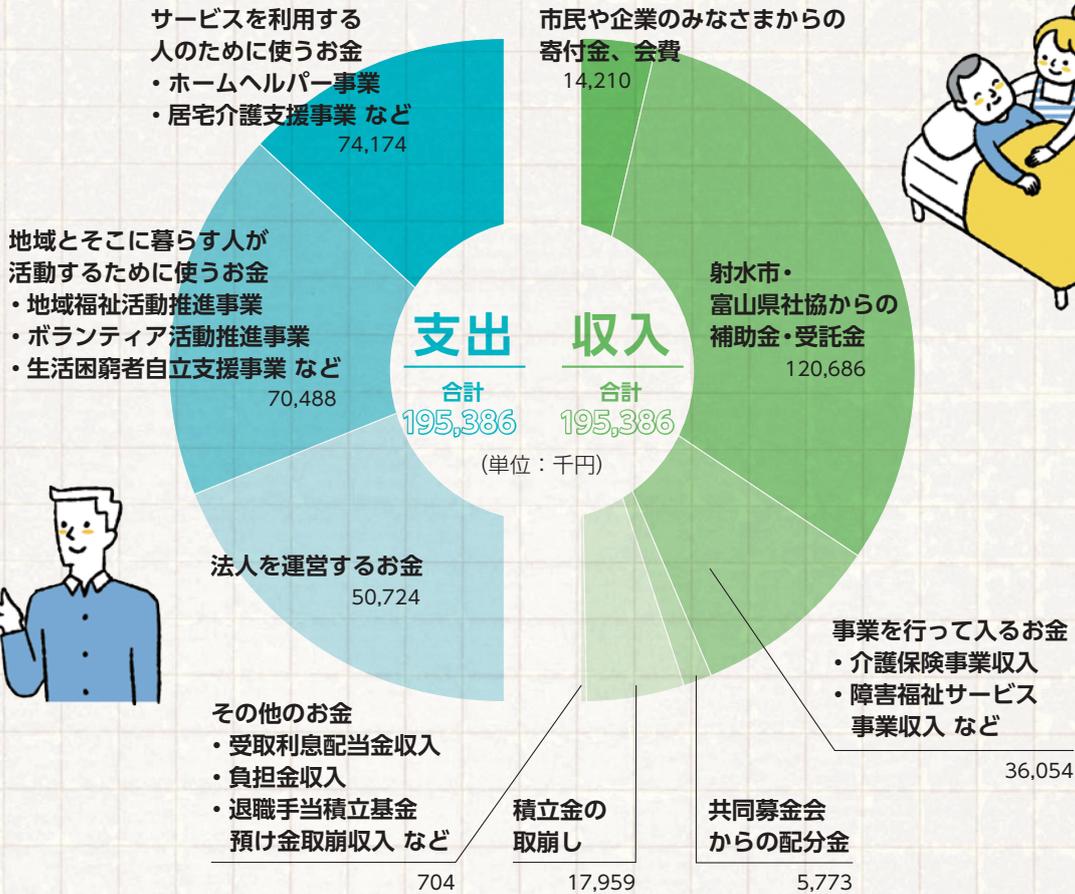


▲Eメール
お問合せ先

令和4年度 社協の予算

3月の理事会及び評議員会において、令和4年度の射水市社会福祉協議会事業計画及び収支予算が承認されました。

当協議会では、「いみず地域共生プラン」に基づき、「みんながつながり支え合う 笑顔でいきいき暮らせるまち 射水」を基本理念とし、地域のみなさまとともに職員一丸となって地域福祉を推進していきます。



《3つの重点項目》

新 新規事業
拡 拡大事業

地域支援

地域に根ざした福祉活動を展開している地区社会福祉協議会の活動を支援するとともに、連携の強化に努めます。また、福祉人材の発掘や育成、先駆的な取り組みを支援し、活動の活性化を図ります。

新 地区社会福祉協議会活性化支援事業

相談体制

日常生活から生じる住民の心配ごとや悩みごとに関する相談体制の充実と機能強化を図ります。社会参加に向けたより丁寧な支援のため、充実したアウトリーチを行います。また、ひきこもりに関する研修会を開催し、地域の理解者を育成するとともに、当事者によりそった相談支援に努めます。

拡 アウトリーチ支援員設置事業

拡 ひきこもり支援事業

災害対応

災害時における的確な支援のため、日頃からの活動について各種関係団体と連携し、災害時に支え合える体制づくりを推進します。災害協定を締結している社会奉仕団体と連絡会を開催し、日常的な連携の強化を図ります。また、市内の高校・高専生を対象に、次世代の災害ボランティアへの理解と参画に努めます。

新 災害ボランティア連絡会(仮称)の開催

新 ふるさと講座を通じた災害ボランティアへの参画促進



みんなのきもち ありがとう

みなさまより福祉のためにご寄付いただきました。
お寄せいただいた浄財は、各種社会福祉事業に活用させていただきます。

社会福祉事業

妙親会 様……………15,000円
田嶋 和夫 様……………20,000円
チューリッヒ保険会社 様……………80,000円

物品預託

第一生命保険株式会社小杉営業オフィス 様…食料品 3箱
新湊ボランティア連絡協議会 様…食料品 616点
射水市立射北中学校 様……………食料品 4箱
射水市立新湊中学校生徒会 様…空気清浄機1台

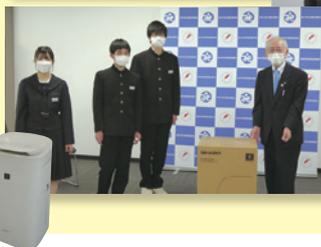
善意銀行

光地 大介 様……………10,000円



◀第一生命保険株式会社
小杉営業オフィス

▼射水市立射北中学校



◀射水市立新湊中学校
生徒会

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金は、地域の高齢者や障がいのある人、子どもたちなどに対して、さまざまな地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」の活動です。

お寄せいただいた募金は、射水市をよくする活動や地域の事業に活用されます。また、災害時のボランティア活動の準備金としても活用されています。

みなさまのご協力のおかげで令和3年度は『11,865,868円』の募金が集まりました。

善意のお気持ち感謝いたします。今後とも、ご支援よろしくお願いいたします。

令和3年度 赤い羽根共同募金実績(R4.2.10現在)

募金種類	実績額	付記
戸別募金	10,911,447円	24,173世帯
街頭募金	34,291円	2回
法人募金	420,500円	46件
学校募金	217,043円	14校
職域募金	174,078円	19件
イベント募金	2,051円	1件
個人募金	8,748円	4件
その他の募金	97,710円	87件
合計	11,865,868円	

プレゼントクイズ

クイズに答えて正解者の中から抽選で
5名の方に図書カード500円分をプレゼント!

家庭で使いきれない食べ物を取りまとめて地域の福祉団体や施設などに寄付する活動をなんといいでしょう?

「フード○○○○」

ヒントはP2~3にあります

○の中に言葉を入れてください。

ハガキ、FAX、または右下の応募フォームからクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、性別、本誌の感想(良かったコーナー、改善点など)、その他ご質問やご意見を記載し下記までお送りください。

あて先 〒939-0351 射水市戸破4200番地11

(福)射水市社会福祉協議会
「福祉いみず プレゼントクイズ」係
FAX 0766-55-5208

※社協のホームページからも応募フォームに移動することができます。

応募締切 令和4年5月31日(火)必着

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。▲応募フォーム



音訳ボランティア養成講座

(入門コース)を開催します

視覚に障がいのある人に、活字や図表などの情報を“音声”として正確に読み上げ伝える音訳ボランティアを養成します。ぜひご応募ください。

受講期間 / 6月24日~8月26日

(毎週金曜日)

全10回 午前10時~正午

場 所 / 新湊交流会館2階

(射水市三日曾根9番18号)

対 象 / 市内在住または在勤の方

定 員 数 / 10名(先着順)

申込期限 / 5月27日(金)

問合せ・申込先 地域福祉課 ☎55-5202

※社協のホームページからも申込フォームに移動することができます。▲申込フォーム



編集後記

現在、広報に関して、あるプロジェクトが進行中なのですが、初めての試みということもあり、うまくいかなという不安と、少し楽しみだなという高揚感が合わさって、なんだかそわそわしている自分がいいます。新年度になり、みなさまの中にも新たな環境で生活がスタートした方がいらっしゃるかと思います。一年を振り返った時に、よかったという思い出が少しでも多くなるように、それぞれの場所と一緒に頑張っていきたいと思います!

次号▶No.67 令和4年8月発行

次号の特集テーマ

「こどもと福祉」をお届けします。